

令和元年度実施

○住民の防災意識向上のための取組

防災出前講座により防災意識向上を図る

特別養護老人ホーム伊豆海の郷、中銀ライフケア、熱海伊東美容師組合など要望のあった団体に実施



○社会経済被害の最小化のための取組

河川パトロールへの参加

浸水被害軽減に向け、土のう備蓄箇所を設置  
土のう作成、積上げ訓練の実施



浸水被害軽減に向け、河川等の改修を実施

令和2年度予定

○住民の防災意識向上のための取組

防災出前講座の継続

- ・ 災害についての知識、意識の向上
- ・ 警報避難情報の周知及び自主避難の促進



○社会経済被害の最小化のための取組

河川パトロールへの参加 (継続)

浸水被害軽減に向け、土のう備蓄箇所を継続設置

土のう作成、積上げ訓練の実施

浸水被害軽減に向け、河川等の改修を実施

# 令和元年度・令和2年度の主な取組(伊東市)

## 令和元年度実施

### ○住民の防災意識向上のための取組

#### ●洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設を洗い出し

・H31.3月に見直された伊東大川浸水想定区域に含まれる要配慮者利用施設の洗い出しを関係各課に依頼、提出された結果を精査した



#### ●住民向けの防災啓発事業の実施

・防災フェアにて、台風に関する展示により情報周知  
・風水害に関する啓発紙を配布及びポスターの掲示  
・防災講座の実施(自主防災会5回、小中学校4回その他3回)

### ○社会経済被害の最小化のための取組

#### ●河川パトロールへの参加

#### ●水防訓練を実施

#### ●土のうを作成・備蓄



## 令和2年度予定

### ○住民の防災意識向上のための取組

#### ●浸水想定区域内の要配慮者利用施設

- ・地域防災計画への記載
- ・対象施設に説明会を実施、避難確保計画の作成を依頼
- ・避難訓練への参加

#### ●住民向けの防災啓発事業の実施

- ・(継続)風水害に関する記事を広報誌に掲載
- ・(継続)防災フェアにて、災害に関する情報の展示
- ・(継続)啓発紙の配布、ポスター掲示
- ・(継続)防災講座の実施

### ○社会経済被害の最小化のための取組

#### ●(継続)河川パトロールへの参加

#### ●(継続)水防訓練の実施

#### ●(継続)土のうの作成・備蓄





# 令和元年度・令和2年度の主な取組（静岡県危機対策課）

## 令和元年度実施

### ○避難勧告等に関するガイドラインの改正に伴う説明会の実施

平成31年3月の避難勧告等に関するガイドラインの改正について、県庁及び各地位局単位で説明会を開催し、概要や実施内容を説明

### ○住民避難実効性向上検討委員会の提言を受けた取組

#### ①新たな啓発手段を活用した住民等への周知啓発

緊急防災情報の伝達手段の多様化、地域の災害リスクの理解促進、非常時の適切な避難行動の支援を目的とした、防災総合アプリ「静岡県防災」を開発、6月に運用開始した。

#### ②地域の議論を踏まえた住民等自らによる避難行動計画の作成

藤枝市をモデルとして実施した、住民参加のマイ・タイムライン作成ワークショップの過程を参考に、市町職員や地域の防災リーダー向けのマイ・タイムライン作成のための手引書「マイ・タイムラインワークショップ進め方の手引」をR2.2月に作成・公表



←防災アプリ  
令和元年6月1日運用開始

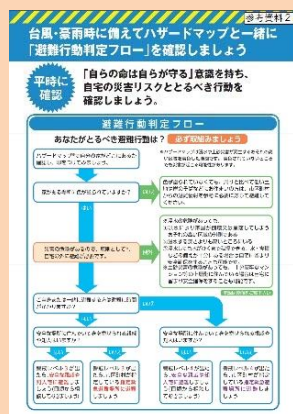
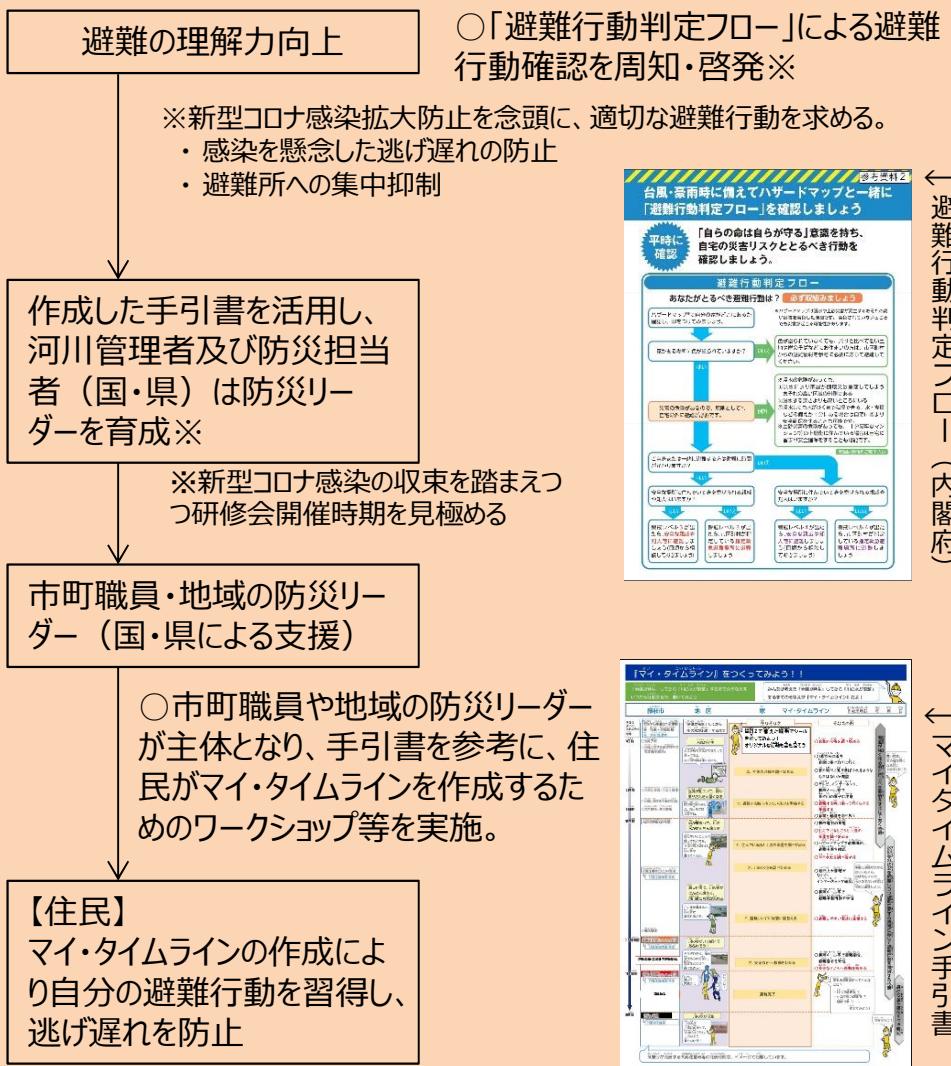
- 防災アプリ「静岡県防災」の機能
- ①緊急防災情報の通知
  - ②マップ表示
  - ③現在地の危険度確認
  - ④危険度体験（AR）
  - ⑤避難トレーニング
  - ⑥防災学習とテスト

- <マイ・タイムライン作成のための手引書概要>
- ①自分たちの住んでいる地区の水害リスクを知る
  - ②洪水時に得られる情報を知る方法、情報を活用した避難判断の方法
  - ③マイ・タイムラインの作成の仕方（雛型）

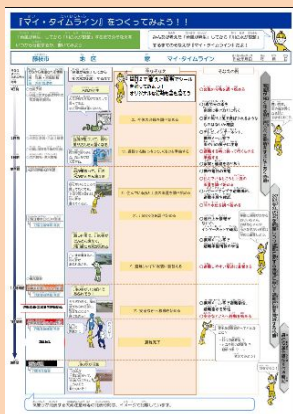
## 令和2年度予定

### ○マイ・タイムラインの作成推進

令和元年度に作成した市町職員や防災リーダー向けのマイ・タイムライン作成のための手引書を活用し、マイ・タイムラインの作成推進を図る。



← 避難行動判定フロー（内閣府）



← マイタイムライン手引書

# 令和元年度・令和2年度の主な取組(東部地域局)

## 令和元年度実施

### ○逃げ遅れゼロのための取組

#### 市町風水害危機管理演習の実施

管内市町の防災担当職員を対象に、防災情報の取扱いや避難勧告等の発令判断など防災能力のスキルアップを目的に、演習、意見交換会を実施した。



#### <演習>(令和元年7月17日)

気象庁で作成された「気象防災ワークショッププログラム《中小河川洪水災害編》」を活用し、防災情報の取扱いや避難勧告等の発令のタイミングについてグループワークを実施した。

#### <台風対応の意見交換会>(令和元年12月5日)

県東部地域に大きな被害をもたらした台風15、19号発生時の各自治体での対応状況をテーマに意見交換会を実施し、各自治体の当時の対応状況や考え方など情報の共有を図るとともに、各自治体が改善すべき課題の確認を行った。

### ○住民の防災意識向上のための取組

#### 「東部防災ニュース」による情報提供

#### 水防災に関する防災教育の推進

管内の高等学校を対象に防災出前講座を実施しており、令和元年度については、全69回の出前講座を実施した。

うち37回はハザードマップの見方や市町が発令する避難情報の意味の解説など風水害に関する内容を含めた形で講座を実施している。



## 令和2年度予定

### ○逃げ遅れゼロのための取組

#### 市町風水害危機管理演習の実施

令和2年度については、令和元年の台風15、19号への対応の反省点を踏まえ、防災情報の取扱いや避難勧告等の発令判断、復旧期の対応など防災能力のスキルアップ、管内市町的能力平準化を目的に実践に則した内容で実施していく。

また、出水期後に実施する管内市町との意見交換会は、非常に有意義であるため、適宜、意見交換の場を設け、住民の避難行動促進に向けた情報発信の方法等の情報共有を図っていく。

### ○住民の防災意識向上のための取組

#### 「東部防災ニュース」による情報提供

防災情報をまとめた「東部防災ニュース」の中で、地震や水害、土砂災害など防災全般に関する情報について特集し、当局HPやチラシを配架することで、住民等へ発信していく。



防災ニュース

#### 水防災に関する防災教育の推進

地震・津波を中心に進めてきた「防災出前講座」において、近年、全国で多発している風水害に関する内容についても、要望に応じて河川管理者など関係機関と連携しながら実施していく。



【参考】防災教育の実施例

# 令和元年度・令和2年度の主な取組（静岡県福祉長寿局）

## 令和元年度実施

### ○逃げ遅れゼロのための取組

- 高齢者福祉施設の災害対応マニュアルの改訂
  - ・「高齢者福祉施設における災害対応マニュアル（平成22年発行）」について、「大雨・洪水警戒レベル」の運用開始などを踏まえ、大幅な修正を実施
  - ・県が開催する「市町介護保険事業者指導担当者研修会」等で、施設における非常災害対策に重点をおき、本マニュアルを活用
- 要配慮者に関する情報集約訓練の実施
  - ・要配慮高齢者に関する情報集約の手段や体制について検討
  - ・防災訓練の際に、各市町からメールで避難所の要配慮高齢者人数を集約し、市町・関係団体と共有
- 社会福祉法人等の指導監査
  - ・社会福祉法等に基づく指導監査において、「防災体制の見直しと充実・強化」を重点指導項目として防災管理体制や防災訓練の実施状況を確認、指導

### ○ハード対策の取組

- 非常用自家発電機・給水設備の整備（令和元年度事業）  
地域介護・福祉空間設備等施設整備交付金
  - ・災害時に福祉避難所として機能する介護施設が、災害時に施設機能を維持するための電力・水の確保を自力でできるよう、非常用自家発電設備・給水設備の整備に要する費用の一部を補助
- （参考）社会福祉施設の耐震化  
平成30年8月現在の耐震化率94.9%（3,109施設中2,949施設）  
耐震化助成制度 先進的事業支援特例交付金（介護保険課）  
介護保険関連施設等施設整備事業費補助金（介護保険課）等

## 令和2年度予定

### ○逃げ遅れゼロのための取組

- 高齢者福祉施設の災害対応マニュアルの改訂（継続）
  - ・引き続き「高齢者福祉施設における災害対応マニュアル」について、市町担当課・連絡先等の修正や、制度改正を反映させる。
  - ・県が開催する「市町介護保険事業者指導担当者研修会」等で、施設における非常災害対策に重点をおき、本マニュアルを活用する。
- 要配慮者移送調整等訓練の実施（継続・拡充）
  - ・要配慮高齢者の把握のほか、受入先施設との調整等について、防災訓練に追加することを検討
  - ・要配慮高齢者だけでなく、要配慮者全体の把握について検討
- 社会福祉法人等の指導監査（継続）
  - ・社会福祉法等に基づく指導監査において、引き続き防災管理体制や防災訓練の実施状況を確認、指導

### ○ハード対策の取組

- 非常用自家発電機・給水設備の整備（令和2年度事業）  
地域介護・福祉空間設備等施設整備交付金のメニュー  
福祉避難所の指定を受けた、特養ホーム等が、災害時に施設機能を維持するための電力・水の確保を自力でできるよう、非常用自家発電設備・給水設備の整備に要する費用の一部を補助する。



# 令和元年度・令和2年度の主な取組(静岡県河川砂防局)

## 令和元年度実施

### ○逃げ遅れゼロのための取組

- 水害リスク情報等の共有に向けた取組
  - マイ・タイムライン研修会を実施(市町職員対象)  
(静岡・志太榛原5月30日、西部・中東遠7月25日、東部2月7日)  
内容：洪水ハザードマップを活用したマイ・タイムライン作成
  - 全ての土砂災害危険箇所における基礎調査及び土砂災害警戒区域の指定完了
  - 市町福祉担当者や学校関係者に、要配慮者利用施設における避難確保計画作成に向けた取り組みについて説明(東部8/29、11/13)
- 避難行動を促す取組
  - 危機管理型水位計の観測データを「サイポスレーダー」にて公表  
(7月～運用開始)
  - 堤防が決壊した場合、どこが・いつ・どのくらい浸水するかを時系列で見ることのできる国土地理院「浸水ナビ」への登録  
(県内46河川：熱海・伊東地域は1河川)
  - 土砂災害警戒情報の発表基準の見直し・検討
  - 土砂災害警戒情報を補足する新システムの検討
  - 不動産関係団体の研修会にて水害リスク情報の解説を実施  
(主催：静岡県不動産協会 7月17.22.24日)  
内容：不動産取引時に水害リスク情報を重要事項説明に追加依頼

### ○氾濫発生後の早期回復のための取組

- 「ふじのくに災害復旧支援隊」を初出動(台風19号対応)  
伊豆市、伊豆の国市、函南町へ職員7名を派遣(10月24日)

### ○ハード対策の取組

【県内全域】

河川(河道掘削、樹木伐採等)(熱海・伊東地域は4河川)  
砂防(土砂災害防止施設の整備)(熱海・伊東地域は3箇所)

## 令和2年度予定

### ○逃げ遅れゼロのための取組

- 水害リスク情報等の共有に向けた取組
  - マイ・タイムライン研修会を継続実施  
内容：洪水ハザードマップを活用したマイ・タイムライン作成
  - 中小河川を対象に簡易的な洪水浸水想定区域図の作成・公表  
(県内458河川：熱海・伊東地域は19河川)
  - 高潮浸水想定区域図の作成・公表
  - 土砂災害警戒区域指定の精度向上(地形改変等に伴う見直し)
  - 市町福祉担当者や学校関係者に、要配慮者利用施設における避難確保計画作成に向けた取り組みについて説明
  - 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、水害リスクや避難方法等をテーマとした動画の県HP掲載や、市町の広報誌を活用した周知を行う。

### 【令和3年度末までの目標】

- ※要配慮利用施設における避難確保計画作成と訓練実施(100%)
- ※市町における洪水ハザードマップ作成(全30市町)  
熱海・伊東地域は完了済
- ※市町における水害タイムライン作成(全30市町)  
熱海・伊東地域は完了済

### ●避難行動を促す取組

- 洪水危険度分布(気象庁データ)を「サイポスレーダー」に搭載
- 土砂災害警戒情報の発表の新基準による運用
- 土砂災害警戒情報を補足する新システム及びスマホ版等の運用
- ダムに関する情報提供の充実(柔軟な運用)の検討

### ○ハード対策の取組

【県内全域】

河川(河道掘削、樹木伐採等)  
砂防(土砂災害防止施設の整備)

# 令和元年度・令和2年度の主な取組(熱海土木事務所)

## 令和元年度実施

### ○「逃げ遅れゼロ」を達成するための取組

- 確実な避難勧告の発令に向けた取組  
洪水対応演習ホットライン訓練の実施(R1.6.25)

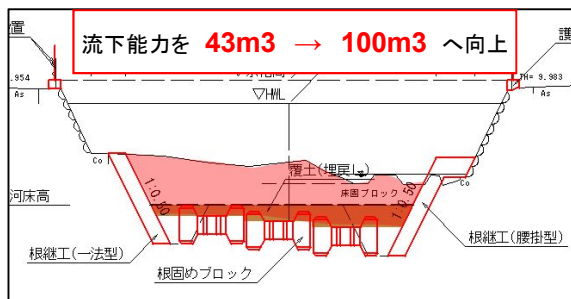
#### 【実施概要】

- ・ 熱海土木事務所長より  
伊東市長へ避難勧告を助言
- ・ 水位周知河川 伊東大川  
岡橋水位観測所(伊東市)  
にて9時45分氾濫危険水位  
(6.1m)到達と想定して実施



### ○「社会機能の早期回復」を達成するための取組

- 河川整備計画に基づく治水対策  
の着実な実施
- ・ 河道拡幅などの河川改修を行い  
河川流下能力を拡大する。
- ・ (二) 烏川 災害等予防保全事業  
(郷戸公園付近 根継・掘削 L≒50m)



## 令和2年度予定

### ○「逃げ遅れゼロ」を達成するための取組

- 避難行動を促す取組
- ・ 引き続き地域における  
出前講座等へ講師を派遣し  
防災教育を推進する。
- ・ 主に土砂災害の仕組みや  
避難行動について、クイズ等  
も加えながら実施。



R1.12.16 熱海高校での防災出前講座の様子

### ○「社会機能の早期回復」を達成するための取組

- 河川における機能の確保  
引き続き河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採等による  
流下能力の保全を実施

#### 【令和2年度 予定】

- ・ 緊急浚渫推進事業により河床掘削工を実施予定(3か所)  
千歳川(熱海市泉元門川分)、伊東大川(伊東市岡、伊東市鎌田)

#### 伐採イメージ





# 令和元年度・令和2年度の主な取組(静岡地方気象台)

## 令和元年度実施

防災気象情報をより一層活用しやすくするために  
令和元年度出水期を目途に、「危険度分布」が示す危険度の高まりが確実に伝わるよう、市町など希望者向けに通知するサービスを開始する予定。



## 令和2年度予定

### 「危険度分布」で本川の増水に起因する内水氾濫の表示を改善

「危険度分布」において「本川の増水に起因する内水氾濫(湛水型の内水氾濫)の危険度」も確認できるよう、本川流路の周辺にハッチをかけて危険度を表示するように改善する。

#### 改善案(イメージ)

平成30年7月豪雨の被害状況  
○由良川沿川の舞鶴市、福知山市において浸水被害が発生。  
(※床上浸水 合計約170戸、床下浸水 合計約600戸)

内水氾濫の危険度を河川流路周辺にハッチで表示

ハッチ表示はON/OFFできるようボタンを追加(デフォルトOFF)

本川の増水に起因する内水氾濫(湛水型の内水氾濫)の危険度  
河川の増水によって周辺の支川・下水道からの排水ができなくなることで発生する内水氾濫による洪水被害のおそれがあると認められるときに発表。

- 警戒【警戒レベル3相当】
- 注意【警戒レベル2相当】

指定河川洪水予報  
国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水より大きな被害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると認められるときに発表。

高	冠氾発生情報【警戒レベル5相当】
高	冠氾危険情報【警戒レベル4相当】
高	冠氾警戒情報【警戒レベル3相当】
高	冠氾注意情報【警戒レベル2相当】
低	発表なし

洪水警報の危険度分布

高	極めて危険
高	非常に危険【警戒レベル4相当】
高	警戒【警戒レベル3相当】
高	注意【警戒レベル2相当】
低	今後の情報等に留意

ボタンON時に凡例を表示